

(案)

大学生ころといのちの講演会

「悩んであたりまえ～目指せ！ありのままマイスター～」概要

目的

東京都では、10代から30代までの若者の死因のトップが自殺であり、また、自殺者のうち30代以下の割合は3割を超え、全国平均よりも高くなっている。そのため、都では若者の自殺防止に向けた取組を重点施策として推進している。

なかでも都内の大学生の自殺者数は、24年以降増加してきており、この度、若者が今、どんなことに悩み、周りも含めどのように対応していくのがよいか、若者自らがその方法を考え、同世代に向けたメッセージを発信する。

日時 平成28年3月24日(木) 14:00～17:30

場所 東洋大学白山キャンパス 2号館16階スカイホール(文京区白山5-28-20)

参加対象 都内在住学生、大学・民間団体・都区市町村職員、一般市民

定員 約200名(うちグループワーク参加大学生60名程度 6名×10グループ)

内容 第1部 講演 80分

- ・石井綾華氏(NPO法人Light Ring 代表理事)30分
自殺うつ予防～若者が若者を支える仕組みづくり
- ・大野裕氏(精神科医、一般社団法人認知行動療法研修開発センター理事長)50分
ころを元気にするころのスキルアップ・トレーニング

第2部 大学生を主体としたグループワーク 120分

- ・大学生が持つ悩みに対して、自分及び周りがどう対応すればよいかの事例検討
大学生活に不適應、学業不振等ネガティブな状況
一生懸命全力投球での学生生活を送っている状況 等
各事例 5分説明 30分検討、20分発表(4分×5グループ)5分講評
(石井氏、文京区・都保健所保健師等が各グループのファシリテーター)
- ・大野先生、石井氏より総評

共催 文京区

企画・運営協力

東洋大学社会学部社会福祉学科 加山弾准教授ゼミ

加山先生は、自殺対策東京会議若年層対策分科会委員